

まちづくり市民会議 第2小委員会議事録⑪

■日 時 2008年7月8日(火) 午後6時30分～午後8時30分

■場 所 太田市役所 10階 政策推進会議室

■出席者 委員8名 西村委員長、森尻副委員長、荒井、内田、神谷、栗原、
後藤、福島
市2名 石川、正田

【概要】

1. 会議の目的

- ・今月から12月までの6回で提言書を作成していくので、どのように作成していくか方針を決める。

2. 会議の内容

(1) 資料説明について

- ・西村委員長が、7月1日に行われた関係課との意見交換会の内容について説明した。
- ・福島会長が「広報おおた7月10日号」の表紙に市民会議の様子を載せたことについて説明した。

(2) 提言書の作成について

●提言書の作成方法について

- ・第2小委員会では、①環境改善・環境整備を推進するまちづくり ②健全な子供たちを育むまちづくり ③健康活動のやりやすいまちづくり ④伝統文化を継承するまちづくり を話し合ってきたが、③と④はマップの作成等で関連性があるため、ひとつにまとめるとよいのではないかと。

→『3つの提言書を作成していく』

- ・提出された提言書作成票をたたき台として、委員会で意見を出し合いながらまとめていく。
- ・中身を議論しながらテーマ名を考えていく。
- ・抽象的ではなく具体的な展開ができるような内容の提言を行う。

●健全な子供たちを育むまちづくりについて

- ・食に関しては、中国産食品や食品偽装、農地法による農業政策など難しい問題もある。市民会議としての提言にどこまで踏み込んだらよいか。
- ・食の安全に対しては、中国産食品問題等で危機感は広まっている。啓蒙は更に必要であるが、市民会議としては地産地消に関して提言していくのはどうか。
- ・食育と地産地消は切り離せない問題である。
- ・閉鎖的な流通形態も地産地消の妨げの一要因になっているが、市民ニーズの高ま

りによって、「くらっせ」の朝市や道の駅のような場が増えてくるのではないか。

- ・ネットでの情報発信も便利であるが、品物を実際に手にとって確認できると安心感が増す。
- ・食育を含め、社会参加しない親を教育していくことに行政は力を入れるべきである。
- ・じっくり時間をかけて教育していくしかないのではないか。今は一部の人の参加であっても、まずはその輪を広げていくことに目標をおき、耕作体験等を通して感謝の気持ちや、季節感などを食育していく方法もある。
- ・例えば、簡単朝食メニューの小冊子を提言するのであれば「地元で取れる食材を使った料理」や「我が家の名物料理」などとするとより具体化できるのではないか。

3. 今後の進め方

- ・次回は環境問題についてまとめていく。
- ・提出された提言書作成票をもとにまとめていく
- ・他に意見があれば事務局へ随時提出する。

[次回会議のお知らせ]

1. 定例会

【日時】 7月25日（金） 午後6時30分から

【場所】 太田市役所 10階 政策推進会議室

2. 第12回 第2小委員会

【日時】 8月12日（火） 午後6時30分から

【場所】 太田市役所 10階 政策推進会議室